

はやまエシカルアワード2026 優良事業者部門 講評

■最優秀賞 一般社団法人はっぷ（地域つながり創出団体）

地域の多様な人々が関わり合いながら、環境・福祉・文化の価値を循環させる仕組みを構築している点を高く評価いたします。互近助ガーデン活動では、地域住民からの依頼を受けてガーデンを整備するだけでなく、認知症と共に生きる方を含む多様な人々が参加できるコミュニティガーデンとして育てており、協働性と持続可能性に優れた先進的な取り組みです。葉山和ハーブ活動では、葉山に受け継がれる植物活用の知恵を学びながら、自然保全と暮らし文化の継承に取り組むとともに、農福連携で育てたハーブを活用した「季節の養生茶」や書籍制作、子ども向け出前授業など、地域資源を活かした独自性の高い実践を展開している点が特筆されます。これらの活動は、地域の環境・福祉・文化をつなぎ、他の団体にも広く参考となる波及性の高いエシカルアクションとして大いに評価されます。

■優秀賞 一般社団法人葉山の森保全センター（森林保全・林業団体）

人の手が入りにくくなり、課題が蓄積しつつある葉山の森を次世代へ引き継ぐため、町民主体で継続的に取り組む姿勢を高く評価いたします。人工林の過密化やナラ枯れ、竹林の拡大、野生動物被害など、多くの課題を抱える森に対し、危険木・支障木の間伐や登山道整備など、地域の安全と生態系保全の両面に寄与する実践的な活動を行っている点が注目されます。伐採した木材や竹材を、薪棚や作業小屋、DIY 素材として活用するなど、資源循環を意識した独自のアップサイクルの仕組みも評価できます。さらに、森を歩き観察する「踏査」など、誰もが参加できる活動を通じて、葉山の森への理解と関心を高めており、協働性の高い取り組みとして優れています。これらの活動が、今後さらに広く共有され、地域内外へと波及していくことを期待いたします。

■特別賞 公益財団法人地球環境戦略研究機関（国際環境政策研究機関）

国際的な知見を持つ研究機関として、SDGs の実践を地域社会へつなぐ取り組みを継続的に行っている点を高く評価いたします。国際フォーラムや専門家会合での議論に加え、市民参加型イベントを開催することで、持続可能な社会づくりの重要性を広く伝えており、専門性を地域に還元する独自性の高い取り組みです。また、葉山町主催の海岸清掃活動への参加、小学校への出前授業、フードドライブの実施など、地域と一体となった環境負荷削減の活動は、協働性と地域貢献の観点から優れた実践といえます。国際的な視点と地域での活動を結びつけ、継続的に取り組んでいる点は、持続可能性と波及性に優れたエシカルアクションとして高く評価されます。